
• • •

クダン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

・・・

【コード】

N12290

【作者名】

クダン

【あらすじ】

平凡な主人公が魔獣を倒していくストーリー

1話

きつと俺もここで死んでしまっただな・・・。

「大河、朝よ起きなさい。」

俺は大河、毎日平凡な生活をおくっていて、今日も何気なく学校に行き授業もろくに聞かずに、友達と馬鹿やって過ごしていた。

「やっと放課後だっぜ。大河今からゲーセン行かね」

「ああ。暇だし行くか。」

このときはまだあんなことになるなんて考えてもなかった。

街のゲーセンで格闘ゲームをしながら時間をつぶそうとゲーセンに行く途中異世界の門みたいなものから魔獣が召喚され、あたり一面を火の海にしてしまった。

「逃げるぞ大河」

「ありえねーだろ」

「なにしてる早く走れ」

二人は全力で走ったがその場所から逃げる事ができずいくら走っても同じ場所にもどってきてしまった。その間に魔獣の数は増えていきどんどん人を殺していき、ついには親友までのが殺されてしま

い、

「きつと俺もここで死んでしまっただな・・・。」

と思ったときに遠くから「あきらめるな」と言う声が聞こえてきてその人は魔獣とたたかっていた。

「もう無理ですよ。どうせ」

「君はまだ生きているのにあらがおうとしないのか」

「僕だって生きたいですよ」

その瞬間周りがひかり、異世界の門が閉じ街いた魔獣もいなくなっていた。

「俺はニツクだよろしく」と魔獣とたたかっていた男性が自己紹介の後何が起こったのかを説明してもらった。

「俺も一緒にたたかわせてください」

「次は本当に死ぬかも知れんぞ」

「覚悟の上です」

「仕方ない。ーからしっかり教えてやるからついて来い」

こうして俺は「ウイング」のみんなと魔獣を倒すためにたたかう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1229o/>

...

2010年10月19日13時44分発行